【学校通信】

平成 30 年 2 月 19 日

第 32 号

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西　規之

～生きる力をくれた「先生のことば」～

前号からの続きです。

5「苦しいときに励ましてくれるのは、過去の自分」

卒業式の後、先生がクラスのみんなに話してくれた言葉です。本当に苦しいとき、自分が努力してきたことを思い返して乗り越える力に変えたいと思います。

6「みんなちがって、みんないい」

高校卒業のとき、担任の先生から頂いた手紙に、「詩人　金子みすず　さんの言葉を贈ります」と、この言葉を頂きました。今でもこの言葉が胸に刻まれています。

7「生きているということは、誰かに借りをつくっているということ」

卒業式で校長先生が、ご自分の好きな言葉として贈ってくれた言葉です。思わず涙がこぼれました。

8「あなたの笑顔は財産です」

卒業式の日、先生がクラスの一人ひとりにその子の一番の魅力を素敵な言葉で贈ってくれました。私には「おまえの笑顔は学年で一番」とおっしゃってくれてとてもうれしかったです。

9「馬鹿であるな、馬鹿になれ」

中学の卒業式に、先生が卒業ｱﾙﾊﾞﾑに書いてくれた言葉です。いつも迷惑をかけていましたが、とことん付き合ってくれる素晴しい先生でした。

10「大切なのは「何年生きたかよりも、何をして生きたか」

高校の卒業式で部活の先生から頂いた言葉です。「何かを成し遂げる努力をして年をとりなさい」と伝えてくれました。

11「若竹のように伸びよ」

小学校の卒業式で担任の先生から頂いた言葉です。”強さ”だけでなく、しなやかさ”が大切であると教わりました。卒業文集の題名も「わか竹」だったこともあり、今でも忘れられません。

12「笑顔が心を強くする」

中学時代の恩師が卒業のときに贈って下さった言葉です。40歳になりやっとかみ締めて心に響いています。今は口角をあげて毎日笑顔で過ごしています。

13「人の心は果てしない宇宙よりもっと広い」

小学校卒業のとき先生がくれた言葉です。「宇宙より広い心を何で埋めていくかは自分次第だ」とサイン帳に書いてくださり、今でも時々思い出しては胸が熱くなります。

14「つまづいても自分で立ち上がろう。そのときさしのべられた手の温かさが分かるから」

小学校の卒業式の日に担任の先生が色紙に書いて下さった言葉です。今でも先生が私の一番の憧れの女性です。

15「足元のごみにそっと手を伸ばせる人になってください」

部活の先生が卒業式のときに下さった言葉です。とても厳しい先生で、私達は反抗するばかりでしたが、本当は相手を思いやる心も教えてくださっていたのだと今になって気付きました。

16「自分を大切にできない人は他人も大切にできない」

小学校の卒業式のあと、担任の先生がくれた言葉です。「まずは自分を大切にしろ」という言葉にみんな号泣してなかなか教室を出られなかったのを覚えています。

17「良いことがあったときこそ周りの人のおかげと感謝できる人になりなさい」

中学校の卒業式で担任の先生から言われた言葉です。「感謝できる人間であれ」と大人になった今でもいつも心がけています。